

[人文社会・エッセイ] ご担当者様

「問いと語り」を大切にする
2018年創業の出版社

8月新刊のご案内

8月8日出荷開始
見計らい配本はありません



図書出版

ヘウレーカ

菜の花の沖縄日記

北陸から沖縄へ。少女が見たリアル
家族のもとを離れ、沖縄での高校生活を始めた15歳の少女、菜の花。大好きな島で沖縄の人々、文化、歴史に触れながら、沖縄と本土、そして自分との関係に思いをはせる。自分の目で見て、自分の耳で聴いて、自分の頭で考えて。大切なことは何かを学び、自分ができることは何かを模索する日々を、みずみずしい感性でつづった3年間の軌跡。『北陸中日新聞』で好評を博した連載、待望の書籍化。

映画化決定！ 2020年全国公開（沖縄テレビ制作）

目次

I 沖縄日記

目をひらいて、耳を澄まして

2015年4月～2016年3月

おじい、なぜ明るい？／三線、もっと弾きたい！
一年の振り返りの日／島を守る小さな叫び／辺野古きつと希望ある／戦争は、人を守らないなど

自分の核をつくりたい

2016年4月～2017年3月

アンテナを張って自分の場所で生きよう／なぜ、繰り返されるの？／お供えが並ばなくなったら……／必要とされる働き手になりたい／白装束を着て、神人になった夜など

私と沖縄がつながった

2017年4月～2018年3月

記憶を風化させてはいけない／初めて知ったハーリーの醍醐味／どうすれば自分ごとができる？／心地いい金細工の音、いつまでも／どう自立するか考える／どんな社会を望むの？など

II 沖縄を離れてからも

追悼 翁長雄志さん／辺野古で涙がとまらなくなった／あなたもわたしも無力じゃない

III 珊瑚舎スコーレゆんたく

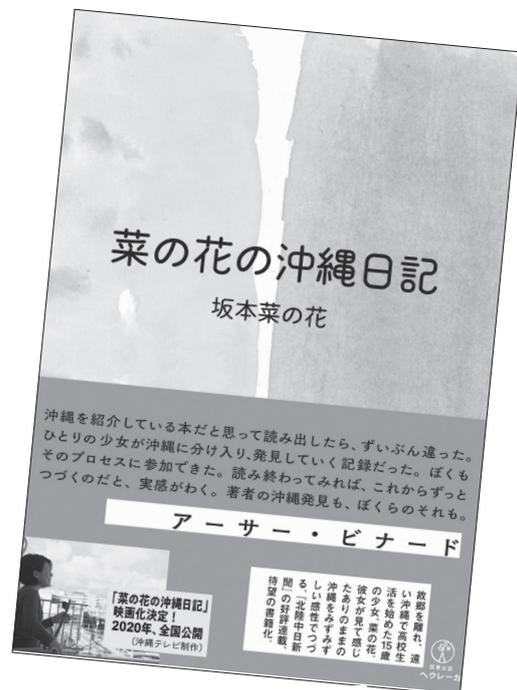
星野人史×遠藤知子×坂本菜の花

坂本菜の花プロフィール

1999年、石川県珠洲市生まれ。中学卒業後、沖縄の無認可学校「珊瑚舎スコーレ」に進学。2018年3月卒業。2015年4月～2018年3月にかけて、北陸中日新聞でエッセイ「菜の花の沖縄日記」をほぼ毎月掲載。現在は実家の宿を手伝う。ときどき家出してあちこち訪ね歩く。好きなことは畑作業とつまみ食い。

- ▼弊社の刊行物は書店様との直取引で出荷いたします（返品可）。物流と決済はトランスビューが代行いたします。取引条件はトランスビューの商品と同様です。1冊から承ります。お気軽にお申し越しください。
- ▼取次経由をご希望の場合は八木書店を通じてご指定の取次に出荷いたします（買い切り・返品不可）。
- ▼トランスビューとのお取引のない場合でも簡単な手続きで今すぐ直取引が可能です。小社にお問い合わせください。
- ▼弊社ヘウレーカは2018年5月創業の出版社です。人文・社会科学分野の書籍を意欲的に刊行していきます。

直取引代行
トランスビュー



著 坂本菜の花

帯：アーサー・ビナード

- 定価：本体1600円+税
- 四六変型・並製・200頁
- ISBN 978-4-909753-04-5 C0036

*ご希望の出荷方法にチェックマークをお入れください

直取引 取次経由

ご注文冊数

冊

貴店名

ご担当

様

ご注文→FAXフリーダイヤル: 0120-999-968

お問い合わせ(ヘウレーカ:大野) → TEL: 0422-77-4368 Email:heureka@heureka-books.com